

献血Webサービス ラブラッド会員大募集中!!

Blood Information

ブラッド・インフォメーション

献血月刊情報 2021年8月号

【発行元】岩手県赤十字血液センター献血推進課
〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6
TEL: 019-637-7201

1. カードのデザイン
が選べる!

2. ポイントを貯めて
記念品と交換!

3. 献血の
予約が可能!

4. 検査通知が早い!



CONTENTS

- ・献血ルームにいこう!!
- ・健康ミニ知識「ヘモグロビンについて 多血症」

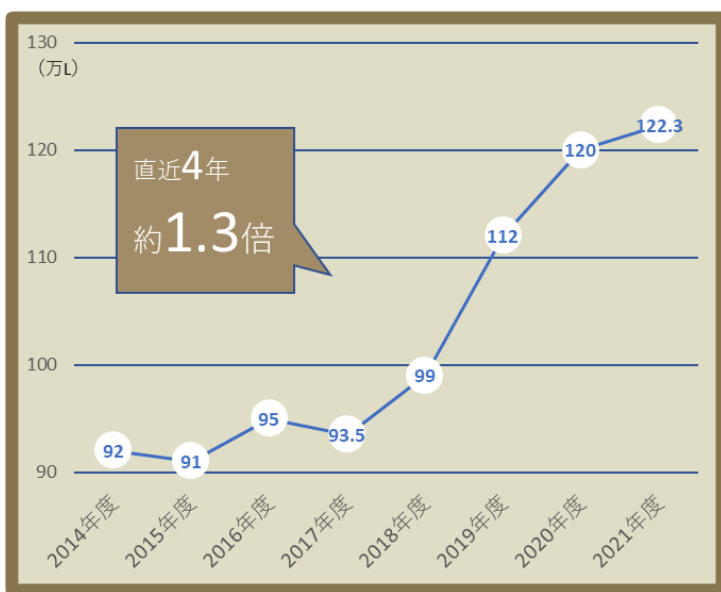
TOPICS

献血ルームにいこう!!

〇血漿成分献血の需要拡大

血漿成分献血とは、血液中から血漿だけを献血するものです。今日、この血漿成分献血の必要数は4年間で1.3倍に増加しています。

血漿を原料にして作られる免疫グロブリン製剤は神経系の病気の治療になくてはならないものです。特に、風邪や下痢の後に急激に手足の麻痺が生じるギラン・バレー症候群や、国の指定難病の一つである慢性炎症性脱髄性ニューロパチー・多層性運動ニューロパチーでは、現在治療手段の中心となっています。これらはいずれも免疫異常によって起きる末梢神経の病気で、手足の麻痺やしびれのために日々の生活に支障をきたしますが、免疫グロブリン製剤は、これらの障害の進行を抑え、症状の回復を促進させます。

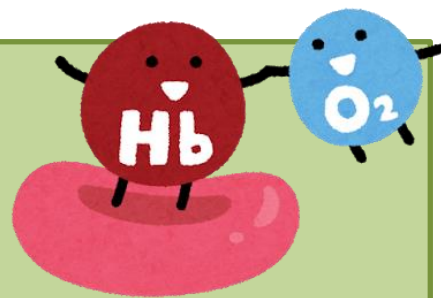


血漿分画製剤用原料血漿の必要量推移のグラフ

こうした背景から、神経の病気においてもより強力な免疫グロブリン療法に対する、医療現場からの期待、要望は高まっています。その点からも、日本国内での献血からしっかりと管理のもとに作られる、安心・安全で良質な免疫グロブリン製剤を安定的に供給するために、献血ルームでの成分献血にご協力をお願いします。

参考：日本赤十字社公式サイト・血漿成分献血について、閲覧日 2021-08-08,
<https://www.jrc.or.jp/donation/kessho/>

ヘモグロビンについて 多血症



Q 献血の事前検査で調べている「ヘモグロビン」が多いとどうなる??

A 「多血症」の可能性があり、注意が必要です!

血液が赤く見える理由となっているヘモグロビンは、赤血球に含まれていて、肺から組織へと酸素を運ぶ役割を担っています。このヘモグロビンの濃度が低くなると「貧血」、反対に異常に高くなると「多血症」となります。

多血症では、体重低下・慢性的な疲労・目の充血・身体のかゆみなどの症状が現れます。

放置するといずれは脳梗塞や心筋梗塞の原因にもなる怖い病気です。健康診断でヘモグロビンの数値が高く、思い当たる症状があったらなるべく早く詳しい診断を受けましょう。

献血いただいた方に配布している検査サービス通知でも、赤血球数をお調べしております。献血webサービス「ラブラッド」の会員であれば、検査結果を早く閲覧できるほか、過去のデータもいつでも確認できるようになっています。ぜひ健康管理もかねて献血へのご協力、ラブラッドへの登録をお願いします!

＜献血はできるの?＞

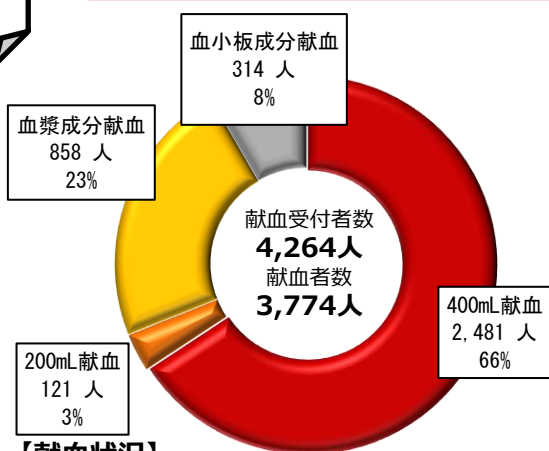
血液の比重（血液における赤血球の濃度）は変化しやすいものです。一度、比重で献血をお願いできなかった場合でも、期間を空けて、ぜひまたチャレンジしてみてください!!

参考：朝日新聞digital, 閲覧日 2021-08-17,
<https://www.asahi.com/apital/articles/SDI201710246053.html>

Data

岩手県の献血・供給状況（7月）

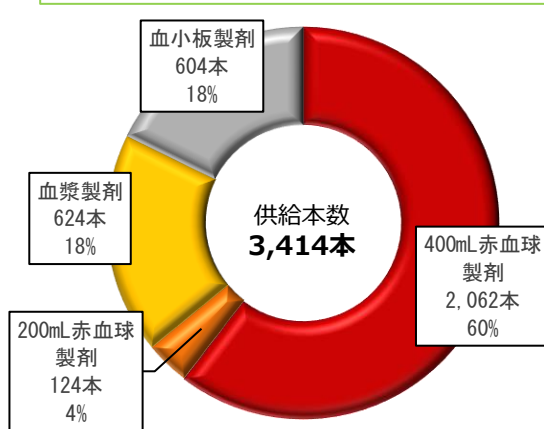
岩手県の献血状況



【献血状況】

全血献血は200mL換算で**5,083本**、400mL献血率（400mL献血者数／全血献血者数）は**95.3%**でした。

岩手県の供給状況



【供給状況】

血漿製剤は血漿成分献血からだけではなく、200mL献血や400mL献血からも作られています。

ホームページでも閲覧できます。

岩手県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/>

Blood Information
 ブラッド・インフォメーション
 献血月刊情報



日本赤十字社
 Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

岩手県赤十字血液センター